

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。  
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。  
謹白

### 記

■ 受託開始日 2022年7月1日(金) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
OM44 4	腔トリコモナスおよび マイコプラズマジェニタリウム 同時核酸検出	分泌物	V50 (F3)	室温 (28日)	2~4	350 ※7	PCR (リアル タイム PCR)	陰性	重凍 裏面参照
		部分尿 5mL	U10 (Y1)						

※7：微生物学的検査判断料



● 膣トリコモナスおよびマイコプラズマジェニタリウム同時核酸検出  
 淋菌およびクラミジアトラコマチス以外の性感染症診断に有用な検査です。

膣トリコモナス (*Trichomonas vaginalis*: TV) の原虫による感染症は、感染率の地域差が大きいものの、感染者数が世界で最も多い性感染症であることが知られています。女性では主に膣炎、男性では尿道炎などの症状で、症状が強いものから無症状まで多様な臨床像を示し、無症状のパートナーからの性感染によるものが少なくありません。

マイコプラズマジェニタリウム (*Mycoplasma genitalium*: MG) の細菌による感染症は、淋菌およびクラミジアトラコマチス以外の性感染症として認知されつつあります。男性では主に尿道炎、女性では子宮頸管炎などの症状で、自覚症状が非常に強いものから軽微、あるいは無症状まで多岐にわたります。

両感染症共に、従来の塗抹鏡検および分離培養では検出困難な場合が多く、核酸増幅法による高感度で迅速、かつ保険算定可能な検査が求められていました。

本項目は、TVおよびMG感染症の診断補助を目的として新規保険収載された同時核酸検出検査です。淋菌およびクラミジア以外の性感染症分野の検査としてご活用ください。

▼疾患との関連

性感染症、膣トリコモナス症  
 非クラミジア非淋菌性尿道炎

▼関連する主な検査項目

淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定  
 淋菌DNA、クラミジアトラコマチスDNA

▼検査要項

検査項目名	膣トリコモナスおよびマイコプラズマジェニタリウム同時核酸検出	
項目コード	親：OM44 4 TVおよびMG同時核酸検出 子1：OM45 1 膣トリコモナスDNA 子2：OM46 9 マイコプラズマジェニタリウムDNA	
検体量	分泌物	部分尿 5mL
容器	V50 (F3)	U10 (Y1)
保存方法	室温保存してください	
所要日数	2~4日	
検査方法	PCR (リアルタイムPCR)	
基準値	陰性	
報告範囲 (単位)	陰性、陽性、判定不能	
桁数	なし	
検査実施料	350点 (「D023」微生物核酸同定・定量検査「10」)	
判断料	150点 (微生物学的検査判断料)	
備考	<p><b>重凍</b>          凍結保存は避けてください。他項目との重複依頼は避けてください。          分泌物、部分尿：検体に大量の血液が混入した場合は、正しい結果が得られないことがあります。          男性の場合、PCR反応阻害物質の影響が稀に認められる場合がありますので、尿検体での検査をお勧めいたします。尿検体は最後の排尿から1時間以上経過後に初尿を採取してください。          本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。</p>	

● [OM44 4]膣トリコモナスおよびマイコプラズマジェニタリウム同時核酸検出について  
 [6454 2]淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定、[2655 0]淋菌DNA、[2582 1]クラミジアトラコマチスDNAとの同時依頼のみ可能です。

●参考文献

Van Der Pol B, et al : JCM 59 (10) : e00264-21, 2021. (検査方法参考文献)  
 Van Der Pol B, et al : JCM 58 (6) : e02124-19, 2020. (検査方法参考文献)  
 日本性感染症学会：性感染症 診断・治療 ガイドライン 2020. (臨床的意義参考文献)